



各 位	上場会社名	東京貴宝株式会社
	代表者	代表取締役社長 中川 千秋
	(コード番号	7597)
	問い合わせ先責任者	取締役経営統括副本部長 染 未良生
	(TEL	03-3834-6261)

## 貸倒引当金の計上及び平成26年3月期業績予想値と実績値との差異 並びに剰余金の配当に関するお知らせ

海外子会社における貸倒引当金の計上及び平成25年5月15日に公表した平成26年3月期（平成25年4月1日～平成26年3月31日）の通期業績予想値と本日公表の実績値の差異についてお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、平成26年3月31日を基準日とする剰余金の配当（増配）を行うことを決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 貸倒引当金の計上について

当社海外子会社において債務不履行による未回収債権が発生し、当該債権の回収可能性について検討を行った結果、回収見込みが不確定であるため、平成26年3月期決算において46百万円の貸倒引当金を個別に計上いたしました。

#### 2. 平成26年3月期業績予想と実績値との差異

##### (1) 平成26年3月期個別業績予想値と実績値との差異（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,108	109	121	118	26.79
実績値(B)	6,596	140	157	128	29.08
増減額(B-A)	487	30	35	10	
増減率(%)	8.0	27.3	29.3	8.5	
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	6,044	104	132	114	25.79

##### (2) 平成26年3月期連結業績予想値と実績値との差異（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,139	126	133	129	29.17
実績値(B)	6,652	102	115	86	19.47
増減額(B-A)	512	△23	△18	△42	
増減率(%)	8.4	△18.9	△13.7	△33.3	
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	6,111	110	133	114	25.95

(3) 差異が生じた理由

個別業績につきましては、催事販売を中心に売上は好調に推移し、利益面におきましても営業利益、経常利益は予想を大幅に上回ることとなりました。しかし、投資不動産の減損損失を16百万円計上したことにより、当期純利益は8.5%の増加に留まっております。

連結業績につきましても個別とほぼ同様に推移しましたが、上記の通り海外子会社において回収見込みが不確定の債権が発生し、貸倒引当金を46百万円計上したことにより、営業利益以下の各段階利益が当初見込みを下回ることとなりました。

4. 剰余金の配当

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成25年5月15日公表)	前期実績 (平成25年3月期)
基準日	平成26年3月31日	同左	平成25年3月31日
1株当たり配当金	4円00銭	3円00銭	3円00銭
配当金の総額	17百万円	—	13百万円
効力発生日	平成26年6月27日	—	平成25年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 増配の理由

当社は、株主への利益還元を重要な経営課題と位置付けております。海外子会社において貸倒引当金を46百万円計上したことにより連結業績は当初見込みを下回ることとなってしまいましたが、個別業績においては売上、利益面ともに前期実績及び当初見込みを上回ることができました。

当期決算の収益に関する諸要素や財務状況等を総合的に勘案し、当社期末配当額を1株につき3円から1円増額し、1株につき4円に修正させていただきます。すでに中間配当金として3円をお支払いしておりますので年間配当金は7円となります。

なお、本件につきましては、平成26年6月26日開催の定時株主総会に付議する予定です。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
当期実績	3円00銭	4円00銭	7円00銭
前期実績(平成25年3月期)	3円00銭	3円00銭	6円00銭

以上